

令和7年度 西原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の精神に基づき，知・徳・体の調和のとれた発達を目指し，自主・自立の精神を養い，日本国民の自覚をもって平和的な国家及び社会の形成者として貢献できる心身ともに健康な子どもを育成する。

〔目指す子供像〕

- 元気いっぱい活動する子・・・【元気】
- よく考え工夫する子・・・【がんばり】
- 思いやりがあり親切な子・・・【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

西原小学校は，多くの史跡や文化財に囲まれ，地域人材にも恵まれた地域にあり，創立116年を迎える歴史の中で，地域の人々の熱い思いに支えられ育てられてきた学校である。

このような地域の特性を踏まえるとともに，新学習指導要領で示された「資質・能力の三つの柱」（「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力」「学びに向かう力，人間性」）を育成するために，「地域に開かれた信頼される学校づくり」，「知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の実践」，「チームとしての学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進」を経営の基盤に据えて，教職員と家庭，地域が一致協力して確かな学力の育成，心豊かで心身共にたくましい児童の育成を目指す。

〔目指す学校像〕心豊かでたくましく みんなで育て みんなで育つ 地域の学校づくり～西原大家族の創造～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

全教職員が信頼と協調を基盤とし，互いに高め合う人間関係の中で，学校経営に参画し，活力のある教育活動を推進すると共に，地域学校園における各学校間の連携を深め，小中一貫教育の充実を図る。

- （1）未来に向かって「生きる力（必要とされる資質・能力）」を育む学習指導の充実・・・〔生きる力の育成〕
- （2）夢を育む教育活動の推進・・・〔キャリア教育の推進〕
- （3）学年・学級経営の充実と個に応じた支援の強化・・・〔学校生活の充実〕
- （4）教職員の資質向上と学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進・・・〔学校力の強化〕
- （5）学校・家庭・地域との連携を基盤とした開かれた学校づくりの推進・・・〔信頼される学校〕

〔一条地域学校園教育ビジョン〕 基本をしっかり身に付け，地域に生きる子供を育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

- （1）教育基本法，学校教育法及び同施行規則，学習指導要領を踏まえ，栃木県教育委員会の指導の指針，宇都宮市教育委員会の「第2次学校教育推進計画後期計画」「うつのみや元気っ子プロジェクト」の示すところに従うとともに，地域とともにある学校づくりの趣旨を踏まえ，社会に開かれた教育課程を編成する。
- （2）教育目標の具現化を図るため，本校の実態（施設・設備・職員構成・地域環境），児童の発達段階や特性，地域社会や保護者の願いなどを踏まえ，心豊かでたくましい児童の育成を目指し，知・徳・体の調和の取れた生きる力を育む教育課程を編成する。
- （3）生きる力の基礎となる資質・能力を育成し，自ら学び，自ら考える力の育成と基礎的・基本的な学力の確実な定着と向上が図れるよう，各教科・特別の教科道徳・特別活動及び総合的な学習の時間・宇都宮学・プログラミング的思考力を育成する学習・外国語活動及び外国語科の特性を生かしながら，本校ならではの「学び続ける力」を核とした教科横断的な視点に立って教育課程を編成する。
- （4）小中一貫教育の趣旨を踏まえた各教科等の「育てたい力」を教育課程に反映させ，義務教育9年間を通した学力保障につなげることができるようにする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- （1）学校運営
自ら考えて，よりよい未来のために行動することができる児童を育成
○地域連携の一層の推進 ・児童主体による集会活動等の充実 ・自分たちの学校をよりよくする活動の実践
- （2）学習指導
自ら考え，他と関わり合うことを通して学び続ける児童を育成
○「宇都宮モデル」等を踏まえた授業改革 ・「学び続ける力」を身に付ける指導の充実
・全教育活動を通した道徳教育の推進 ・デジタルシティズンシップ教育の充実
- （3）児童生徒指導
心しなやかに他と関わる中で，自己肯定感を高める支援の充実
・「居ごこちのよい学年・学級づくり」に向けての取組の推進 ・互いに認め合う中で自己肯定感を高める支援の充実
・児童一人一人に応じた支援体制の充実 ・校内教育支援センターの充実
- （4）健康（保健安全・食育）・体力
自分の健康について自ら考え，心身ともに健康な生活を送ることができる児童の育成
○義務教育9年間を見通した児童生徒の育成 ・人，社会との「かかわり」を生かした学習活動の推進

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A**拡充** B**継続** C**縮小・廃止**, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1-1 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が主体的に授業に参加し, 自分の考えをもって学習が進められるように, 学習を自分事にするめあてのもとせ方や, 意見を交流させる場の設定, 振り返りの仕方を工夫する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答: 92.1%</p> <p>教職員の肯定的回答 100%</p> <p>すべての対象において, 肯定回答は, 指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き, 課題を自分事として捉え, めあてをもって授業に取り組ませたり, 友達との意見交流をさせる場の設定や, 振り返りの仕方を工夫したりする授業展開を工夫する。
1-2 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 児童は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の充実や児童会主催の思いやりのメッセージを送り合う活動を継続して行い, 学校生活全般にわたり, 児童の心を育てていく。 ・ソーシャルスキルトレーニングを活用し, 関わり方を学ぶ活動を取り入れていく。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答: 90.7%</p> <p>教職員の肯定的回答 100%</p> <p>地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>すべての対象において, 肯定回答は, 指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の充実や児童会主催の活動(思いやりのメッセージを送り合う活動)を継続して行い, 学校生活全般にわたり, 児童の思いやりの心を育てていく。
	<p>A 3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の目標と目指す子ども像「元気・がんばり・思いやり」を関連付け, めあてに記入することで, 具体的に取り組んでいけるよう支援する。 ・ホームページや各種たよりを通じて粘り強く目標に向かって努力している児童の様子を発信していく。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答: 88.5%</p> <p>教職員の肯定的回答 94.4%</p> <p>保護者の肯定的回答 82.5%</p> <p>教職員の肯定回答は指標を達成しているが, 児童が1.5ポイント保護者が7.5ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の目標と目指す子ども像「元気・がんばり・思いやり」を関連付け, 短期的(夏休み前まで, 行事に向けて等)に達成度が分かるような取り組みを行う。 ・ホームページや学年便りの「学びの窓」などを通じて粘り強く目標に向かって努力している児童の様子を発信していく。
1-3 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A 4 児童は, 健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は, 健康や安全に気を付けて生活している。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に提示する生活目標に健康や安全に関する項目を必ず入れるようにすることで, 意識の向上を図る。 ・地域消防団, 交通安全ボランティア等の人材を活用し, 本校の取組について, 共通理解を図り, 支援を得ながら, 安全の意識を高める。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答: 93.4%</p> <p>教職員の肯定的回答 88.9%</p> <p>児童の肯定回答は指標を達成しているが, 教職員が1.1ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や各教科, 委員会活動を通して, 児童が健康や安全に対する課題意識を高められるように, 教員が指導の工夫や声掛けをする。

1 (4) 将来への希望と協働する教育の推進	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動を計画的に実施することで、楽しく豊かな学校生活を築くための基礎となる学級内の好ましい人間関係を育て、集団のなかで自己を生かすことができるようにする。 ・児童主体による集会活動の実践や、自分たちの学校をよりよくする活動を自主的に考え、生活をよりよくしようとする児童の育成を図る。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：87.7% 教職員の肯定的回答94.4% 教職員の肯定回答は指標を達成しているが、児童が2.3ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、学級活動や児童会活動の中で互いのよさを認め合う機会を設け、児童が自分のよさや成長を感じられるようにしていく。
2 (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶のやり取りもコミュニケーションの一つだと気付かせたり、意識させたりし、ALTと授業以外（給食の会食や昼休みの遊び・読み聞かせ）に関わる機会を増やすようにする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：92.1% 教職員の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTと授業外でも関わりを増やし、会話を楽しめるようにする。 ・簡単な挨拶のやり取りもコミュニケーションの一つだと気付かせたり、意識させたりし、ALTと授業以外（給食の会食や昼休みの遊び・読み聞かせ）に関わる機会を増やすようにする。
	<p>A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、宇都宮の良さを知っている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 85%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとウォークラリー」を学区内で行うことを通して、歴史的な文化財や史跡が点在する自分の学区に興味をもたせ、総合的な学習や生活科などの学習と繋げ、児童が自主的に調べ学習を続けられるよう働きかけを工夫する。 ・昼の校内放送で宇都宮に関するクイズを実施し、児童が楽しく宇都宮市の特長に触れられるようにする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：88.5% 教職員の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとウォークラリー」を通して、自分の住んでいる場所に興味をもたせたり、校内放送の宇都宮に関するクイズなどで宇都宮市全体のことを知ったりする活動を通して宇都宮のよさを伝えていく。
2 (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員と連携し教職員のタブレット活用の教育実践力の向上を図り、児童が「日常の文具」としてタブレットを活用できるようにする。 ・学校図書館司書と連携し、学習に関連する図書の紹介と図書館の利用喚起を図る。また、学習に図書等を活用したときは、学年だよりで知らせ、家庭でも話題になるようにする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：90.3% 教職員の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、授業での利用機会を増やし、デジタルと図書のそれぞれのよさを見極め、児童自ら選択して進んで学習に活用できるようにする。また、司書との連携を図り、関連図書の紹介などを行っていく。
2 (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進	<p>A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について関心をもっている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 85%以上</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等で「持続可能な社会」に関連する単元においてSDGsを意識した授業を行う。 ・教室でリサイクル活動を推進し、環境について考え行動できる児童を育成する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：89.4% 教職員の肯定的回答83.3% 児童の肯定回答は指標を達成しているが、教職員が1.7ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが生活している環境に目を向けさせ、ごみの分別やポイ捨ての身近な問題への関心を高める。

<p>3 (1) インクルーシブ教育システムの充実に特化した特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を的確に捉え、全教職員が共通理解を図る場を適宜設定する。 ・全教職員が特別支援教育の視点を生かして支援にあたれる様に、校内研修の充実を図る。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 100%</p> <p>肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、特別支援の視点から校内研修を計画したり、児童に関する情報共有を行ったりし、適切な支援を目指していく。
<p>3 (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 <p>⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は児童理解を深め、信頼関係の構築に努める。また、児童会を中心とした児童主体の取組を行うとともに、授業や生活のあらゆる場面をとらえていじめを許さない態度やいじめに気付き手を差し伸べる実践力を育てる。 ・教育相談やいじめアンケートを定期的に行うことにより児童に寄り添う。また、学級活動や道徳の授業を通していじめは許されないことを指導していく。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：99.1%</p> <p>保護者の肯定的回答 92.5%</p> <p>すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、教育相談やいじめアンケートを定期的に行い、児童の思いに寄り添うようにしていく。また、学級活動や道徳、児童会活動などの機会を通して、「いじめは許されないことである」という意識を高めていく。
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> <p>⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席状況等の情報を共有し日々の生活の様子から不登校の兆候を素早く見極め、個に応じた支援や指導を行うとともに、「居がい」を感じる学級経営を推進する。 ・お互いの違いを認め合えるように、学級支援を行い、自己肯定感や自己有用感を味わえる学級経営を推進する。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：96.9%</p> <p>教職員の肯定的回答 100%</p> <p>保護者の肯定的回答 94.7%</p> <p>すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりはもちろんのこと、お話タイムや各種アンケート、心の健康観察などを活用して児童の実態把握に努め、不登校の兆候にいち早く気付けるようにしていく。
<p>3 (3) 外国人生徒等への支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「先生は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、児童が楽しく学校生活を送れるようにしている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。」 <p>⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校行事等において、様々な立場の児童が、互いを尊重し協力し合って活動を行っている。」 <p>⇒地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の頑張りやよさを認めたり、善行を奨励したりする場を設定し、認め励ます教育を推進する。 ・児童会活動や縦割り班活動などの特別活動を中心に、多くの児童が認められ活躍できる機会を増やし、児童が生き生きと主体的に活動し、楽しく学べるようにする。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：96.5%</p> <p>保護者の肯定的回答 94.9%</p> <p>地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童の頑張りを認める場を設定し、認め励ます教育を推進する。

<p>－ (1) 教職員 の資・能 力の向 上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やかがやきルーム担当、学力向上担当などと連携を取り、発達の段階や個に応じた支援を大切にしながら、学習を進めていく。 ・教職員が連携し、学年間で定期的に教科指導の在り方や教材研究について話し合う機会を設け、よりきめ細かな指導を目指す。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：96.9% 教職員の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の連携を密にとり、個に応じた支援を大切にしながら、きめ細やかな指導を継続していく。
<p>4－ (2) チーム 力の向 上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が、それぞれの立場で積極的に児童と関わりながら、各自の専門性を生かしてチームとして職務を遂行する。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答94.4% 肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員全員が、それぞれの立場で積極的に児童と関わりながら、各自の専門性を生かしてチームとして職務を遂行する。
<p>4－ (3) 学校に おける 働き方 改革の 推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の自己管理を通して、勤務時間を意識した働き方に努めるとともに、定時退勤や年休取得を進め、働き方に対する意識の変革を図る。 ・働き方改革推進委員会を更に活性化し、教職員自らが課題を明らかにして、働き方改革を実践していく。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答83.3% 肯定回答は、6.7ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革推進委員会をさらに活性化させ、課題を明確にし、改善できることから柔軟に改革を図っていく。
<p>5－ (1) 全学的 な学校 運営・ 教育活 動の充 実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 <p>⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、小学生と中学生の交流の場をつくったり、掲示物で互いの学校の情報を伝え合ったりする「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 <p>⇒地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校園 A、B シートを活用し、各教科等における地域学校園「育てたい力」を意識しながら、日々の学習活動に取り組むとともに、C シートにより、各種データに基づく検証を行う。 ・保護者、地域に地域学校園の取り組みを HP や各種たよりで紹介していく。 	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答89.9% 地域住民の肯定的回答100% 地域住民の肯定的回答は指標を達成しているが、保護者が0.1ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域学校園の取組を、HP や各種便りで保護者や地域に紹介していく。
<p>5－ (2) 主体性 と独自 性を生 かした 学校経 営の推 進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の協力を得た出前授業や地域と連携した体験活動を盛り込んだ教育活動を進めたり、教育活動を家庭、地域に開放する機会を増やしたりしていく。 		<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答97.4% 地域住民の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p>

5 ー (3) 地 域 と 連 携 ・ 協 働 し た 学 校 づ くり の 推 進	<p>携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を探索する「ふるさとウォークラリー」や、高学年が地域の河川清掃を行う「西原の日」等の活動を通して、地域・家庭・学校が連携して教育活動の充実を図っていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を探索する「ふるさとウォークラリー」や、各学年における「にしはらの日」の活動を通して、地域・家庭・学校が連携して教育活動の充実を図っていく。
6 ー (1) 安 全 で 快 適 な 学 校 施 設 整 備 の 推 進	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検の実施など、日常的に施設設備の安全に目を配り、修繕が必要な場合は迅速に対応する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答 94.7% 地域住民の肯定的回答 100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き定期的な安全点検の実施を行う。
6 ー (2) 学 校 の デ ジ タ ル 化 推 進	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、授業（授業準備も含む）や業務の改善に、デジタルを積極的に活用している。」⇒教職員の肯定的回答 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 支援員と連携を取り、GIGA スクール構想について保護者への周知に努めたり、環境整備や児童のスキル向上を目指したりする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 100% 肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年間で教材の共有を行ったり、ICT 支援員と連携を取り、環境整備や教員のスキル向上を目指したりする。
小・中 学 校、 地 域 学 校 共 通 本 校 の 特 色・ 課 題 等	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動を中心とした「朝のあいさつ運動」や「地域学校園あいさつ運動」を実施し、来校者や校外でも挨拶がしっかりとできるように、具体的に指導していく。 ・挨拶が家でも進んでできるように児童に方策を考えさせ、「おうちあいさつ週間」等の活動を児童会が中心となって計画していく。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：93.0% 保護者の肯定的回答 85.1% 地域住民の肯定的回答 91.7% 児童と地域住民の肯定回答は、指標を達成しているが、保護者が4.9ポイント指標を下回った。※昨年より1.3ポイント上昇</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組が保護者に伝わるように各種便りを使って周知する。 ・あいさつに関して、家庭と連携した取組を実施する。
	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「児童は、登下校での交通ルールなど、きまりやマナーを守って、生活している。」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の約束」や「西原小よい子の一日」の指導徹底を図るとともに、生活当番活動を通して、日常の生活の様子を把握し、校内の巡視等を行うとともに、実生活の場で直接指導する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：90.7% 教職員の肯定的回答 88.9% 地域住民の肯定的回答 83.3% 児童の肯定回答は、指標を達成しているが教職員が、1.1ポイント、地域住民が6.7ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、「学習の約束」や「よい子の一日」の指導徹底を図る。また、下校指導の際に交通ルールを守ることの大切さを繰り返し指導していく。問題が生じた班や児童に対しては個別に指導をしていく。

	<p>B 3 児童は、1時間の学習を通して学びの実感が得られている。</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「振り返りの時間に児童は、分かったことや自分の考えを自分の言葉でまとめている。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、児童が自分の考えをうまく表せるよう授業の展開や指導方法を工夫している。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が「分かった」「今まで〇〇だったけれど、△△に変わった」等、学んだことを実感できるような振り返りや、板書を写すだけでなく、キーワードを使って自分の言葉で本時の学習をまとめられるような方法を工夫する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：81.5% 教職員の肯定的回答100% 教職員の肯定的回答は指標を達成したが、児童が8.5ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、学んだことを実感できるような振り返りや、板書を写すだけでなく、本時のキーワードを使って自分の言葉で学習をまとめられるような時間を確保する。
	<p>B 4 児童自ら判断し、主体的に取り組むことができる活動の充実に努めている。</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「児童は、自分で判断し工夫して学校行事や係活動などに取り組んでいる。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、児童自ら判断し活動できるような場の設定や支援を行っている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や係活動、委員会活動では、具体的に自分のめあてをもたせ、児童が自ら計画・実践できる機会を増やし、より主体的に活動できるように支援する。 ・係活動や委員会活動に取り組んだ記録を掲示・累積することで、主体的に取り組んだことを実感できるようにする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：87.7% 教職員の肯定的回答100% 教職員の肯定的回答は指標を達成したが、児童が2.3ポイント指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動や委員会活動に取り組んだ記録を掲示・累積したり、積極的に称讃したりすることで、児童が自分たちの活動の意義を感じられるようにする。
	<p>B 5 児童は目標をもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「私（児童）は、めあてをもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。」 <p>⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、児童の健康や体力の向上のための活動を工夫して行っている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の状況を把握した上で、保健指導や体育の授業の充実を図り、自分の健康や体力に関心をもたせる。 ・生活チェックを実施し、自分の生活習慣を見直す機会を設けたり「元気っ子チャレンジ」を積極的に実施し、体力向上に関心をもたせたりする。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答：90.3% 教職員の肯定的回答100% すべての対象において、肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休みでも、自分の健康や体力に関心をもってもらえるような活動を取り入れる。 ・体力テストで低い値だった種目に関わる運動を体育の授業で、積極的に取り組めるようにする。 ・引き続き、保健や運動委員会のイベントを積極的に行う。
	<p>B 6 教職員は自らの資質向上を目指して、研修を深めている。</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体アンケート「教職員は、資質向上のための取組を積極的に行っている。」 <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら立案した研修計画を基に各種研修等に積極的に参加し、資質向上を目指す。 ・各自の「実現したい学びの姿」に基づいた一人〇授業等の取組を通して授業改善に努めていく。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答100% 肯定回答は、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画を基に各種研修等に積極的に参加し、資質向上を目指す。 ・各自の「実現したい学びの姿」に基づき、相互の授業参観を通して授業改善に努めていく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- 肯定回答が、目標対象回答者において指標を上回り、良好と考えられる項目が16項目（26項目中）であった。そのことから、計画に基づく教育活動の展開が概ね適切に行われたと考えることができる。
- 特に A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」については、児童99.1%保護者92.5%と高い肯定的回答率であり、学級活動や道徳、児童会活動などの機会を通して、「いじめは許されないことである」という意識を高めていく活動が行き渡っていたことが伺える。同様に A12「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」についても、すべての対象において高い肯定回答となっており、教職員の日々の関わりはもちろんのこと、教育相談や、「心の健康観察」などを活用して児童の実態把握に努めていることが分かる。
- 昨年度、児童の肯定回答率が目標指標を下回り課題となっていた A6「児童は英語を使ってコミュニケーションしている」については、ALTと授業以外（給食の会食や昼休みの遊び）に関わる機会を増やしたことにより肯定回答率が指標を達成した。
- 児童・保護者の肯定回答率が指標を下回った A3「児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」については、児童一人一人の目標と目指す子ども像「元気・がんばり・思いやり」を関連付け、短期的に達成度が分かるような取り組みを行っていく。また、ホームページや学年便りの「学びの窓」などを通じて粘り強く目標に向かって努力している児童の

様子を発信していく。

- 5 A16「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」については、6.7ポイント指標を下回った。今後は、働き方改革推進委員会をさらに活性化させ、課題を明確にし、改善できるところから柔軟に改革を図っていく。
- 6 ○B1「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」については、児童・地域において指標を達成している。しかし、保護者の指標が下回っている（昨年度より1.3ポイント上昇）ことから、挨拶運動などの学校の取組が保護者に伝わるように各種便りを使って周知する。また、挨拶の大切さについて家庭と共通理解を図り、家庭と連携した取組を計画的に実施する。
- 7 B2「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている」については、地域住民が6.7ポイント指標を下回った。「児童は登下校での交通ルールなど、きまりやマナーを守って、生活している」という質問内容であるが、登下校時の交通ルールを守れてない児童が見られると考えられる。今後も下校指導を通して交通ルールを守ることの大切さを繰り返し指導していく。また、課題が見られた登校班や児童に対しては個別に指導を行っていく。
- 8 B3「児童は1時間の学習を通して学びの実感が得られている」については、児童が8.5ポイント指標を下回っていることから、児童が、学んだことを実感できるような振り返りや、板書を写すだけでなく、本時のキーワードを使って自分の言葉で学習をまとめられるような時間を確保していく。

7 学校関係者評価

- 1 先生方が児童一人一人に丁寧に応じ、指導していることが分かった。今後も家庭や地域と連携して、子供たちが楽しい学校生活を送れるよう取り組んでほしい。
- 2 B2「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている」に関して、規範意識について、先生方が学校で児童に指導していることを保護者にも折に触れて伝えたい。
- 3 ネットのトラブルが心配である。SNSの利用については、今後も保護者へ伝えていく必要がある。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- 1 地域住民による評価が、B1・B2を除いて100%であったことから、本年度の学校経営において、好評価をいただいた。引き続き、学校・家庭・地域との連携を基盤とした開かれた学校づくりの推進をしていく。
- 2 ○B1「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」については、児童・地域において指標を達成している。しかし、保護者の指標が下回っている（昨年度より1.3ポイント上昇）ことから、挨拶運動などの学校の取組が保護者に伝わるように各種便りを使って周知する。また、挨拶の大切さについて家庭と共通理解を図り、家庭と連携した取組を計画的に実施する。
- 3 B2「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている」については、地域住民が6.7ポイント指標を下回った。「児童は登下校での交通ルールなど、きまりやマナーを守って、生活している」という質問内容であるが、登下校時の交通ルールを守れてない児童が見られると考えられる。今後も下校指導を通して交通ルールを守ることの大切さを繰り返し指導していく。また、交通ルールを含めた生活や学習に関する規範意識について、学校で児童に指導していることを保護者にも学年だより等で伝えていき、学校と家庭が連携して根気強く指導していく。
- 4 今後もデジタル・シティズンシップ教育を推進し、デジタル技術の利用を通じて学習効果が得られるようにする。それと同時に、インターネットのプライバシーとセキュリティの問題に関する知識や他者の尊重について学年の発達段階に応じて考えさせていく。また、家庭においてもコンピュータの扱いやSNSの使用について適切な監督と関与が求められることを随時伝えていく。